



2021年5月12日
東日本旅客鉄道株式会社

キャッシュレス決済のリテラシー向上を目的とした中学生向け教育プログラム 「電子マネーから学ぶ、キャッシュレスと経済のしくみ」を実施します

JR 東日本では、非接触 IC カード技術 FeliCa(フェリカ)を提供しているソニー株式会社ならびに同技術を使った電子マネーサービスを運営するイオン株式会社、株式会社NTTドコモ、株式会社ジーシービー、株式会社セブン・カードサービス、楽天Edy株式会社と共同で、キャッシュレス決済を正しく活用するためのリテラシー向上を目的とした中学生向け教育プログラム「電子マネーから学ぶ、キャッシュレスと経済のしくみ」(※)を実施します。

※この教育プログラムは、企業と連携した授業づくりを専門とする NPO 法人 企業教育研究会の協力で運営します。

■実施背景

近年、社会のデジタル化やコロナウィルス感染症対策を背景に、キャッシュレス決済の活用がさらに広がっています。それに伴い、2021年度から全面実施される中学校新学習指導要領では、技術・家庭科の家庭分野に計画的な金銭管理に関する内容を新設し、キャッシュレス化の進行に伴って多様化した購入方法・支払い方法の特徴を、子どもたちが理解することが求められています。キャッシュレス化を推進する当社ならびに6社は、プログラムの実施を通じて、子どもたちが社会との関わりを実感しながらキャッシュレス決済の技術や意義を理解して、正しく活用できるようになることを支援します。

■実施概要

1. 対象

首都圏(茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県)所在の中学校から希望校を募集し、計12校での実施を予定しています。

2. 実施時期

2021年夏～2022年3月まで

3. 費用

無料

4. 実施内容(予定)

- ・キャッシュレス決済の技術のひとつとして、FeliCaカードの仕組みや通信方法を学ぶ
- ・身の回りの決済方法について、支払時期や手段の特徴を踏まえ分類する
- ・キャッシュレスの利便性や価値、利用上気を付けるべき点を学ぶ
- ・企業事例をもとに、キャッシュレスが普及することで社会や私達の生活がどのように変化するかを学ぶ



5. 募集方法

中学校単位で応募いただきます。応募方法、授業内容等、詳しくはウェブサイトでご案内します。
応募受付開始は6月を予定しています。

キャッシュレス教育ウェブサイト <https://www.sony.co.jp/Products/felica/cashless/>

■プログラム実施企業が運営する電子マネーサービスについて

本プログラムを共同で実施する各社が運営する電子マネーサービスは以下のとおりです。



イオン株式会社

WAON



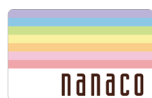
株式会社 NTT ドコモ

iD



株式会社ジェーシービー

QUICPay



株式会社セブン・カードサービス

nanaco



東日本旅客鉄道株式会社

Suica



楽天Edy株式会社

楽天Edy

※ 「WAON」はイオン株式会社の登録商標です。

※ 「iD」ロゴは、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

※ 「QUICPay」は株式会社ジェーシービーの登録商標です。

※ 「nanaco」は株式会社セブン・カードサービスの登録商標です。

※ 「Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※ 「楽天Edy(ラクテンエディ)」は、楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。

※ FeliCa は、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。

※ FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

■SDGsの取り組み

JR東日本グループはSDGsの取り組みに力を注いでいます。キャッシュレス事業者として、本プログラムの実施を通じ、将来、社会の担い手となる子供たちが、現代社会における金銭管理に必要な知識について、主体的に学ぶことをサポートすることで、持続可能な社会の発展に貢献します。